一般質問

○鳥見山公園内の運動施設の管理について
○田んぼアートの今後の展開について
○縦割り行政の弊害について
○国道４号拡幅工事の進捗状況について

長田守弘議員

質問　自由広場にナイター照明があれば、更なる利用拡大が図られると思うが、設置の考えはないか。

教育長　設置に伴い管理人の増員や施設維持のための経費など費用の負担が伴うことから、費用対効果を踏まえ慎重に検討して参りたいと思います。

質問　田んぼアートの観覧を有料化する考えはあるのか。

産業課長　今年度、観覧者への有料化に関するアンケート調査を実施し、約27％の方が有料でも観覧する、約22％の方が有料になったら観覧しないとの結果でありました。

有料化については、事業運営において、貴重な財源として大変有効な手段とも考えられますが、年間３万人を超える観覧者数となっており、現在の観覧スペースは繁忙期には、混雑し手狭である状況です。

展望スペースの更なる整備等も含め田んぼアート実行委員会を中心に、関係機関と調整を図り、調査研究して参ります。

質問　全国田んぼアートサミットが各地で開催されているようだが、当町で開催する計画はあるのか。

産業課長　全国田んぼアートサミットは、田んぼアートの魅力を通じて、農業への理解を深めるとともに田んぼアート実施団体の意見交換や技術交流により全国各地の田んぼアートがより一層充実し農業や観光の活性化につながることを目的に平成24年に第１回のサミットが青森県田舎館村で開催され、今年は名古屋市で開催され、現在までに７回開催されております。

全国田んぼアートサミット連絡協議会において例年サミットの開催地を決定しており、現在のところ、２年後の２０２０年までの開催地が決定している状況にありますが、開催にはクリアすべき諸問題もありますので、立候補に向けては、関係機関と協議していきたいと考えております。

観覧者が３万人を超えた田んぼアート

質問　図書館の管理と田んぼアートの観覧場所が展望室であることの管理上の弊害はないか。

産業課長　田んぼアートの対応には図書館業務に支障のないよう産業課において専任の職員を配置し案内等にあたっており、休館日においても産業課職員が対応していることから、現在のところ弊害はないものと考えております。

質問　国道４号拡幅工事の役場交差点以北は、平成31年度末で完成予定と聞いているが進捗状況はどうなっているのか。

都市建設課長　役場前交差点以北の２．３km区間については、現在舗装工事を進めているところですが、今年度末までに、車道表層、中央分離帯の一部を残して終了します。

平成31年度に残りの車道表層、中央分離帯について工事を進め完成予定です。

質問　役場交差点以南久来石までの完成予定はいつ頃になるのか。

都市建設課長　役場前交差点以南の２．１km区間において、現在改良工事を推進しているところです。

国からは、地下水位が高い等の不確定要素が解消され施工条件が整った時点で完成時期についてお知らせしたいと報告がされております。

今後も、国に対して早期全線開通への要望活動を継続して実施して参ります。

一般質問

○経常収支比率と財政力指数の現状と、その改善策について
○自然災害等の冠水対策と巡回点検の取り組みについて
○企業誘致の進捗状態と魅力あるまちづくりについて
○交通事故防止に係る道路標示の充実について

畑　幸一議員

質問　町の基金と地方債はどのくらいあるのか。また、１人当たりいくらになるのか。

総務課長　基金は、平成30年５月31日現在、19基金約25億４千万円であります。

地方債の起債残高は、平成29年度末時点で約64億２千６百28万６千円となります。

また、１人あたりは、基金20万６千円、起債73万９千円で、起債のピーク時は、平成13年で１１４億円であり、平成29年では91億円と減少しております。

質問　経常収支比率と財政力指数を、どのように認識しているのか。また、財源確保改善策等はどのようにするのか。

町長　経常収支比率は、平成29年度は、84．９％であります。

福島県全体の平均、町村平均いずれも下回っております。財政力指数は、平成29年度決算では、０．５７ポイントであります。

県全体の平均、町村平均のいずれも上回っております。

また、改善策等については、経常収支比率をさらに抑えていく考えであります。

質問　自然災害等の冠水対策と巡回点検の取り組みはどうしているのか。

総務課長　成田地区等の河川氾濫対策は、早めに避難勧告を行う減災対策等のソフト対策が中心となっています。

また、今年から成田地区と懇談会を行い、防災意識の高揚と対応策を検討して参りたいと考えております。

さらに、今年度、県が阿武隈川の浸水想定区域見直し調査（70年に一度の確率を千年に一度に変更）を行っており、その結果を踏まえ、ハザードマップの更新も計画しています。

都市建設課長　主な冠水場所は、高速道路のアンダーパス、イオンの先、五斗蒔地区、中町の裏通り、旭町、笠石鏡田線の森電気前等であります。

巡回点検の取り組みとして、４号線の排水、土地改良区のごみつまりがあり、事前に、ごみの撤去をしております。

質問　企業誘致の進捗状態はどうなっているのか。

産業課長　民間が所有している１か所、未利用地２か所の解消を図るため、県主催の企業立地セミナーでの企業誘致活動や福島県東京事務所等に情報を提供し、誘致活動を行っています。

駅東第１土地区画整理事業地内の準工業地域21．６haは、具体的な企業誘致には至っていません。

質問　ご当地グルメの開発の考えはあるのか。

産業課長　鏡石町魅力あるまちづくり実行委員会で、町の農産物を活用した６次化商品の開発と併せ、個性的で魅力的な商品を開発すべく検討しています。

質問　交通事故防止のための道路標示等の設置要望はしているのか。

総務課長　町では、各行政区や学校からの要望を聞きながら、必要な場所の調査を行い、県公安委員会へ要望を行っています。

森電気店前の信号機設置は、継続して要望して参ります。

質問　住宅用火災報知器の普及状況と、高齢者宅等への設置への支援策はあるのか。

総務課長　平成23年11月に消防署が行った全世帯調査では、約60％の設置率であり、毎年の抽出調査では、約66～81％の設置実績でした。

設置支援については、本町独自の助成や国・県による助成は行っておりません。今後も、広報やチラシの配布等により普及啓発に力を入れてまいります。

高齢者宅の支援は、行政区長さんと協議しながら検討していきたいと思います。